

会 議 録 (要 旨)

会 議 名	第 2 7 期小金井市公民館企画実行委員の会議 第 3 回		
事 務 局	公民館本館		
開 催 日 時	令和 4 年 1 0 月 1 8 日 (火) 午前 1 0 時～午前 1 1 時 3 0 分		
開 催 場 所	公民館本館 学習室 B		
出 席 委 員	近江委員 大木委員 菅沼委員 照井委員 藤原委員 武藤委員		
欠 席 委 員	なし		
事 務 局 員	大久保 落合 金子 近藤		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	なし
	<p>1 公民館運営審議会の報告</p> <p>2 主催事業について (終了報告、実施計画、途中経過等)</p> <p>(1) 子どもの人権講座準備会</p> <p>(2) 高齢者学級「生きがい広場」について</p> <p>(3) 成人学校「“郷土かるた” で小金井をもっと知ろう」について</p> <p>(4) 市民アカデミー秋期について</p> <p>(5) 成人大学講座について</p> <p>(6) 市民映画会について</p> <p>3 その他</p> <p>(1) 都公連委員部会研修会の報告</p> <p>(2) 公民館企画実行委員連絡会の報告</p>		

会 議 結 果

司会：藤原委員

1 公民館運営審議会への報告

- (1) 令和4年9月14日（水）午前10時～11時45分 801会議室
第36期第9回公民館運営審議会について報告を行った。
- (2) 令和4年10月12日（水）午前10時～11時30分 801会議室
第36期第10回公民館運営審議会について報告を行った。

2 主催事業について

- (1) 子どもの人権講座準備会について
令和5年度子どもの人権講座準備会実施要項について説明を行った。
- (2) 高齢者学級「生きがい広場」について
野外学習（10/25（火）実施予定）の計画について説明を行った。
- (3) 成人学校「“郷土かるた”で小金井をもっと知ろう」について
市制施行50周年を記念して作成したこがねい郷土かるたを題材にした講座を提案。2回シリーズとして、そのうちの1回は実際に市内の史跡も巡る。
全会一致で承認された。
- (4) 市民アカデミー秋期について
春期講座の時も無かったので、全体の反省会をやるべき。
- (5) 成人大学講座について
 - ・イギリスを題材にした講座 学芸大学の太田先生から内諾を得た。
 - ・年明け3月の土曜日の午前中、3回シリーズ
 - ・歴史背景、諸外国から見た英国
 - ・ゲスト講師の提案を受けている
- (6) 第552回市民映画会について
「トムとジェリーのアカデミーコレクション」12/17（土）
公民館企画実行員の支援 午前の回：藤原委員、午後の回：近江委員

3 その他

(1) 都公連委員部会研修会の報告

10/1（土）国分寺市本多公民館 近江委員が参加

(2) 公民館企画実行委員連絡会の報告

10/4（火）公民館東分館 照井委員ならびに近江委員が出席

公民館事業の報告

公民館名	事業名		頁	
本館	子どもの人権講座「あなたは大切にされていますか？～私がわたしであるために～」		1	
	市民講座「身近な人間関係を考える」		2	
	成人学校「己書で楽しく暑中見舞いを描いてみよう」		3	
貫井南分館	市民講座	「夏休み直前 家族で考えてみよう親子アンガーマネジメント講座」	4	
		「親子で社会科見学～笛木醤油と川越市立博物館」	5	
	成人学校	「ボディメイク教室」	6	
		「中秋の名月に飾ろう正絹のうさぎ飾り」	7	
東分館	成人学校 子ども子育て支援講座「親子工作教室 よく当たるゴムてっぽうを作ろう！」		8	
	利用団体のつどい	「第35回東センターまつり プレイベント フрутとアコーディオンサマーコンサート」	9	
		第35回東センターまつり	10	
緑分館	子ども体験講座「金属ってもえる？～線香花火を作ろう！～」		11	
	成人学校「はがきに水墨画を描こう」		12	
貫井北分館	青年教育講座	世代間交流の推進	「はじめてのマンガイラスト講座」	13
			「ちょっとスペシャルなフラワーアレンジメント」	14
			「木育ガール キキちゃんとマイ木琴を作ろう！～木育×STEAM教育～」	15
	成人学校	子ども・子育て支援「自分も家族も大切にするコミュニケーション」		16
		健康づくり講座「はじめての俳句～夏を詠んでみよう」		17
	男女共同参画講座「コロナ禍を経験して考える 人と地域がつながる共生社会」		18	
	芸術のつどい 地域の芸術文化活動支援「気軽に和体験ー浴衣の着付けと日本舞踊」		19	
	図書館貫井北分室 公民館貫井北分館連携事業「第23回ビブリオバトル inぬくきた」		20	

公民館事業の計画

館名	事業名	目的	事業の特色	日時	講師(敬称略)	定員	備考
本館	市民アカデミー(秋期)	国内及び国際の今日的な様々な課題を学ぶことにより知識と教養を深め、日々の生活に活力を得ることを目的とする。	市民公募の準備会を設置し今日的課題内容を討議し、それぞれの分野の教授等スペシャリストに講義いただく。	別紙参照		10人(多数抽選)	本館学習室B
	ITサポートセンターお気軽ICT講座「LINEを便利に使ってみよう！」	多くの人が日常的に使っているアプリケーション「LINE」について、慣れていない方を対象に、安全で便利に、マナーを守って使うための入門講座を開催する。	小金井市ITサポートボランティアが企画運営し、公民連携により主催事業を実施する。また、申込方法として申込フォームを追加使用する。	①10月22日(土) ②11月5日(土) 午前9時30分～11時30分	小金井市ITサポートボランティア	各10人(多数抽選)	①本館学習室A ②貫井南分館ITルーム
貫井南分館	成人学校「楽しくトレッキング 都民の森～紅葉編・檜原村」	トレッキングの初歩的な学びと実践を行い、コロナ禍でお運動不足解消と参加者の交流を行う。	山歩きの事前学習の後、現地での実践を行いながら、自然を満喫しリフレッシュを行う。	11/2(金)事前学習、11/8(火)実践	越前谷博(北多摩山の会)	10人(多数抽選)	都民の森(檜原村)
	市民講座「怒る人にも怒れな人にも役立つ大人のアンガーマネジメント」	アンガーマネジメントを知ることでコミュニケーションの様々な場面で、自分に沸き立つ怒りへの関わり方を学習する。	7月に親子対象とした講座を行い、今回は大人を対象として行う。	11/16(水)午前10時～正午	安藤生奈(アンガーマネジメントコンサルタント)	20人(申込順)	公民館貫井南分館学習室
	市民講座「山本有三を知る」	近隣に縁のある作家や作品をを学習することで、文学に興味を持ってもらう。	毎年人物シリーズで実施していく計画で昨年は「太宰治」。今回は「山本有三」を映像を交えて、作家の人となりから作品まで学習していく。	11/17(木)、24(木)午前10時～正午	三浦穂高(三鷹市山本有三記念館学芸員)	20人(申込順)	公民館貫井南分館学習室
東分館	成人学校 子ども子育て支援講座「簡単・かわいい！ハロウィンラッピングワークショップ」	秋の大きな行事として浸透しつつあるハロウィンに向けて、プレゼントの基本的なラッピング方法や、お洒落に見えるコツを学ぶことを通して、気分転換をはかりながら日々の暮らしに楽しみを見つけ、日常に彩を与えることを目的とする。	ハロウィンに向けて、お菓子のラッピング方法として、マチなし袋の製作や、箱の作り方、リボンの結び方、道具の使い方、ラッピングのルールについて学ぶなど、ワークショップ形式で展開する。	10/13(木)午前10時～正午	入山紗妃・大和由佳(ラッピングコーディネーター講師)	10人(申込順)	・保育定員 8人 ・材料費 800円
緑分館	国際交流イベント「楽しく、楽しく、鮮やかなモンゴルの世界」	外国の歴史、自然、文化、日本との関わりを学び、その国についての理解を深める。	講義を聞くだけではなく、モンゴル人による馬頭琴の演奏やモンゴル人のアートにも触れてもらう。	10月8日(土)、10日(月)(祝)、15日(土)、22日(土)午後2時～4時	大西 夏奈子(フリーランスライター・編集者)	30人(多数抽選)	公民館緑分館学習室A・B・C

館名	事業名	目的	事業の特色	日時	講師(敬称略)	定員	備考
緑分館	成人学校「多摩の縄文時代」	縄文時代とはどのような時代だったのか、多摩地域、野川流域を中心に縄文人の暮らしを考える。	最近の調査・研究成果を踏まえ、縄文時代の社会について考える。	10/19(水)、10/26(水)午後2時～4時、11/9(水)午前8時30分～午後5時(野外研修)	中山 真治(日本考古学協会会員)	20人(多数抽選)	公民館緑分館学習室A・B・C
貫井北分館	青少年教育講座「防災食を活用！作って楽しむ きたまち食堂 part.2」	防災食を使用した簡単な調理方法を地域の先生から学び、学校や学年を超えた交流を講師と参加者間で深める。	防災食を使用して「アルファー米オムライス」「簡単レアチーズケーキ」を、感染症予防対策に配慮しながら作る。防災時に必要な物品の確認も行う。	11/5(土) ①午前10時～正午 ②午後2時～4時	潮田彩(調理師)	各回8人(多数抽選)	参加費500円(材料費)
	青少年教育講座「文化祭・学園祭ポスター掲示」	学生の進路選択、地域住民と教育機関の情報交換の促進。公民館と学校教育機関の連携を図る。	地域にある高校や大学など教育機関の文化祭・学園祭のポスターを掲示。	8/8(月)～11/30(水)			
	市民講座「これからのエネルギーと私たちの生活」	再生可能で環境にやさしいエネルギー開発の現状を知り、環境やエネルギーと経済活動や個々の生活との関連を深める。	未来を支えるエネルギーシステムのことだけでなく、財政学・経済学から考えた将来のエネルギーと私たちの生活の関連についても学ぶ。	11/7、11/14、11/21、11/28 いずれも月曜日 午前10時～正午	池上貴志(東京農工大学大学院工学部准教授) 佐藤一光(東京経済大学経済学部准教授)	30人(多数抽選)	
	成人学校「まちの先生から学ぶラッピング講座」	地域研究の一環として、市内で活躍する講師から知識や技術を学び、地域資源を知る。講師や参加者間の交流を促進し、街の活性化につなげる。	ペーパーラッピングとリボン結びを学ぶ。	10/8、10/22 いずれも土曜日 午後2時～4時	浮津千愛(ギフトラッピングコーディネーター)	各回6人(申込順)	各回参加費500円(材料費)
	陶芸入門「陶芸入門教室」	開催を週末に設定しただけでなく、初めて保育付きの陶芸入門教室として、公民館利用者の新規拡大を図る。受講後、陶芸サークルを紹介し、学びの継続性を促進する。	はじめて陶芸をされる方を対象に、作陶から本焼きまでを経験して陶芸の基礎を学ぶ。	9/17、9/24、10/1、10/8、10/15、11/5、11/19 いずれも土曜日 午前10時～正午	東田茂正(陶芸家)	8人(申込順)	参加費5,000円(材料費)
図書館・公民館連携事業「いのちを守るーゲートキーパーになるー」	WHOが定める「世界予防デー」、厚生労働省が定めた「自殺対策強化週間」、東京都の「自殺対策強化月間」に合わせ、自殺予防として推進されているゲートキーパーについて学ぶ。	新型コロナウイルス感染症関連による自殺増加も憂慮される中、図書館との連携事業として、社会問題や人権問題に関連した講座を開催。	9/10(日)午前10時～正午	小原彰子(東京多摩いのちの電話事務局長) 有田茂(川崎いのちの電話参与)	30人(申込順)		

公民館事業の報告

公民館名	事業名	頁
貫井南分館	成人学校「声で身体を整えよう」	1
東分館	公民館・図書館連携教育事業「ひがし子ども司書養成講座 2022ーめざせ！キッズ・ライブラリアンー」	2
緑分館	成人大学講座「なぜ、アツい！？農学の今と未来」	3
貫井北分館	成人学校「子ども・子育て支援 きたまちコアラくらぶ ～親子で手遊び歌とリトミック～」	4

公民館事業の計画

館名	事業名	目的	事業の特色	日時	講師(敬称略)	定員	備考
本館	子どもの人権講座準備会	「子どもの人権」という観点から子どもたちを取り巻く現代の様々な問題を取り上げ、子どもたちが他人を尊重し、互いに認め合う心を育てていくために大人たちができることを考えることを目的としている。これらを具現化しより良い講座にするために、広く一般市民を交えて意見交換する場として公民館企画実行委員と共に準備会を開催する。	本館主催事業のうち、高齢者学級、市民アカデミーと並んで準備会(一般市民、公民館企画実行委員及び職員)を組織して行う講座。	11/5(土)～3/4(土) 月1回 いずれも土曜日の午前10時～正午	—	15人(先着順)	
東分館	市民講座「日本でてくしめかざり探訪～土地の恵みと祈りのかたち～」	日本では古くから、民間信仰が根付いている。なかでも最も大切な行事とされる正月は多種多様な風習があり、習わしは土地により大きく異なる。今回は年神様をお迎えするための目印である「しめかざり」をテーマに、日本人特有のものや自然を大切にす素朴な信仰心や、地域ごとの特色について学習する。	※目的の欄参照	11/16(水) 午前10時～正午	森須磨子(しめかざり研究家)	25人(申込順)	
	成人学校「宇宙開発の最前線」	民間人が宇宙旅行に出かけるなど、以前に比べると宇宙は私たちの生活のなかで身近な存在になりつつある。宇宙開発の最前線の取り組みについて学ぶことを通して、科学技術への興味・関心を喚起することを目的とする。	※目的の欄参照	11/18・25(いずれも金曜日)午前10時～正午	安田幸一(読売新聞東京本社編集局科学部長)	24人(申込順)	
	成人学校「森鷗外を読む」	今年、没後100年を迎える森鷗外は、激動の時代のなかで、社会や自らの生き方を鋭く見つめ、苦悩と挫折、諦念を優れた文学作品として昇華させた。よく知られた二つの鷗外の作品と鷗外の『遺言書』を取り上げ、講師の朗読鑑賞を交えながら、作品の味わいや作品に込められた鷗外のメッセージを読み解くことを通して、困難な状況のなかにあっても、力強く生きることの大切さについて考えることを目的とする。	※目的の欄参照	12/1・8・15(いずれも木曜日)午前10時～正午	倉本幸弘(森鷗外記念会常任理事・鷗外没後100年記念実行委員長)	24人(多数抽選)	
緑分館	成人学校『「終活」について考えてみませんか?』	住宅管理や身の回りの整理、相続を円滑に進めるための計画などの具体的な「終活」について専門家の話を聞いて考える。	土地家屋調査士、行政書士、司法書士の3人の講師による3回の講座を1日で実施する。同日、まちづくり推進課主催の「住まいのなんでも相談会」を開催する。	11/18(金)、午前10時～午後5時	①持丸康和(土地家屋調査士)②佐々木由美子(行政書士)③小早川朋子(司法書士)	各回30人(申込順)	公民館緑分館学習室A・B

館名	事業名	目的	事業の特色	日時	講師(敬称略)	定員	備考
貫井北分館	青年教育事業 青少年教育講座健全育成事業「マンガdeトーク～ボクらの時代のヒーロー像～」	話題になっているマンガを通して文化や社会状況等の「今」を見る。また、人の好みや楽しみ方など、好きなどころから生き方やその人らしさを見出し、多様性の理解に繋げる。	好きなマンガのヒーローやヒロインを紹介し合い、様々な感じ方や考え方を知り、自分と他者の違いを認め合う。その後、講師の先生から文化や社会状況を踏まえて総評をいただき、多様性理解へと繋げる。	11/20(日) 午後2時～5時	小西公大(東京学芸大学 准教授)	12人(多数抽選)	
	青年教育事業 青少年教育講座 若者による自主講座「森とクリスマス～クリスマスリースを作ろう～」	間伐材を利用したクリスマスリースの作成、森の役割、木にできることのすごさ、間伐の大切さを学び、学年や学校を超えた交流で親睦を深める。また若者当事者が自主講座を企画・実施を通してチームで協力・連携することの意義を学ぶ。	間伐材を使ってクリスマスリースの土台や装飾をし、一人一人がオリジナルのクリスマスリースを作る。企画は、東京学芸大学附属小金井中学校 GTELAB 公民館チーム	12/17(土) 午後2時～4時	宮村連理(東京学芸大学附属小金井中学校 教諭)	12人(多数抽選)	参加費 100円(材料費)
	成人学校 地域研究講座「秋のこがねい散歩～農工大通り～」	地域研究の一環として、農工大通りを歩き、商店街、神社、施設などの歴史や特徴を学び、理解を深める	農工大通り商店街を巡り、商店街の歴史や街の変遷、お店の特徴などを聞き、農工大通りの沿いの八重垣稲荷や東京農工大博物館を見学する	11/18(金) 午後1時～3時半	大野周吉(農工大通り振興会会長)ほか	10人(多数抽選)	
	成人学校 子ども・子育て支援「パパと一緒に組み立てよう～ミニ四駆で自動車のしくみを学ぶ～」	父親限定の親子対象講座。ミニ四駆を通じて組み立てる楽しさ、自動車の仕組みについて一級整備士から学ぶ。また公民館利用者の新規拡大と父親同士の交流促進。	親子でミニ四駆を組み立てた後、室内で走行させて参加者同士の一体感を図る。	11/26(土) 午前10時～正午	辻拓也(一級自動車整備士)	10組(多数抽選)	参加費 400円(材料費)
	成人学校 子ども・子育て支援「パパのためのネイチャーガイドツアー」	父親限定の講座。子育て世代がお子さんを連れて訪れやすい高尾山で、小学生でも観察しやすい動植物について、基礎知識を学ぶ。また公民館利用者の新規拡大と父親同士の交流促進。	高尾山の生態系、お子さんに興味や関心をもたせるポイント、お子さんとのハイキングの注意点や装備など	12/3(土) 午前9時15分～午後0時30分	宮田浩(自然ガイド)	10人(多数抽選)	

令和5年度子どもの人権講座準備会実施要項

1 目的

子どもの人権講座は、「子どもの人権」という観点から子どもたちを取り巻く現代の様々な問題を取り上げ、子どもたちが他人を尊重し、互いに認め合う心を育てていくために大人たちができることを考えることを目的としている。これらを具現化しより良い講座にするために、広く一般市民を交えて意見交換する場として公民館企画実行委員と共に準備会を開催する。

2 日程、場所等

No.	年月日		場所
(1)	令和4年	11月5日(土)*	公民館本館 学習室A
(2)		12月3日(土)	
(3)	令和5年	1月7日(土)	
(4)		2月4日(土)	
(5)		3月4日(土)	

いずれも午前10時から正午まで

3 内容

令和5年度「子どもの人権講座」についての企画提案、意見交換等

* 児童青少年課が子どもオンブズを含む市の取組状況を紹介する。

4 募集方法

市報10月15日号、月刊こうみんかん10月号、市ホームページ、公民館ツイッター、チラシ、ポスター

5 申込方法、定員

当日直接会場へ。当日先着15人。

6 謝礼、手当等(予算措置)

無し

7 担当者

職員：大久保 公民館企画実行委員：未定